

授業科目 生涯発達看護学概論

【担当教員名】 岩 田 みどり		対象学年	2	対象学科	看護
		開講時期	前期	必修・選択	必修
		単位数	1	時間数	15
【概要・一般目標：GIO】 本科目では、人間のライフサイクル（生涯）を、胎児期・新生児期・乳児期・幼児期・学童期・青年期（思春期含む）・壮年期・老年期に区分し、人間の発達や発達段階別の生活および環境を理解する。また、各期に代表的な発達問題を理解し各期の看護の特徴を考察する。					
【学習目標・行動目標：SB0】 1）人間のライフサイクル（生涯）の変化や生活の特徴を理解できる。 2）各期に関連した発達理論（発達課題）を理解できる。 3）各期の成長や生活と発達課題および発達問題を理解できる。 4）各期の発達問題に対する看護の概要を理解できる。 5）人間を対象として看護する上で、生涯発達理論をふまえた看護の必要性を考察できる。					
回数	授業計画・学習の主題			SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	1）人間のライフサイクル（生涯）を8区分に定義し、その変化と主な発達理論（発達課題）について説明する。			1	講義
2	2）胎児期・新生児期では、子宮内から外への適応や新生児の能力を紹介し、主な発達問題と影響因子に対する看護について説明する。			23	オムニバス（塚本）
3	3）乳児期の成長発達や日常の活動・言語・生活の自立についてと、主な発達問題について説明する。			34	講義
4	4）幼児期の成長発達や日常生活・言語・生活の自立についてと、主な発達問題（愛情剥奪症候群など）について説明する。			34	講義
5	5）学童期・青年期の成長発達と、心の変化の特徴や主な発達問題について説明する。			34	講義
6	6）壮年期・老年期では、身体と心の変化の特徴や主な発達問題と看護について説明する。			34	オムニバス（梨本）
7	7）発達問題をひとつ選び、発達理論を踏まえて発達問題を説明し、自己の考察を加える。課題評価レポートの作成をする。			5	演習＋講義
8	まとめ				
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		ナーシンググラフィカ 小児看護学/小児の発達と看護		メディカ出版	3,600円
参考書		事例で学ぶ生涯発達臨床心理学	杉原一昭	福村出版	2,800円
その他の資料		わかりやすい発達心理学	無藤隆	ミネルヴァ書房	2,400円
【評価方法】 筆記テスト50%＋個人課題レポート40%＋出席10%		【履修上の留意点】			